

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語)
		(C 除いた特殊語) (/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
0896.22	コイル (「こんばんは シバレルから手拭か コイツ」のように言う)	シバレル
1739.10	sibareru ko:ru <どちらか使>	
1745.54	コオリ <水かめにコオリはた>	スカ <川にスカはる>
1762.10	シバレル <多>	コイル
1773.27	シバレル <古> <老人か多<使>	コイル
1814.25	シバレル <シバレルからコイツというように>	コイル
1854.24	sibareru <多>	ko:ru
1893.10	sibareru <多>	ko:ru
1942.03	sibareru <少>	ko:ru

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語)
		(C 除いた特殊語) (2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
2722.67	シバレル (コオルとはいわない)	
2750.43	シミル (シバレルは使わない。凍ることもある。コオルも同じ)	
2763.89	koru simiru (両者ともに同じように使う)	
3706.47	simiru koru (新)	
3752.89	simirü kōrū とはいわない	
3766.97	コール (新)	スミテフ
3783.11	スミル (大根や食物などに)	コ-フ
4589.83	simiru <古>	
4618.87	semiru <希>	koru <普通>
4637.20	simiru <手拭いなどの濡れたのが氷ると>	ko:ru <雪が氷かたけに氷ると>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
4648.42	simiru (雪の国<氷の国> simiru と云う)	
4650.52	simiru (ほじわ ko:ru と答えてこれと訂正した)	
4666.17	sibareru <新> <北海道あたりから入ったことば であろうか> (北洋漁業に出稼ぎの多かった 部落である。本人は北洋にいかなかった)	ko:ru <古から言っている>
4663.06	simiru (多)	
4663.29	simiru ko:ru は昔の人は使わなかった	
4672.19	simiru 家の中ではこれを多く用いる	
4675.62	*ko:ru (ほじわ sivareru と答えたが、これは他人は使 いが自分に使わぬという比喩であった) <古からそれ/今も ko:ru と云う>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (4)

地点番号	A 語形とその注記 <B・C 除いた語形とその注>	A 注のない語形 <B・C 除いた語形とその注>
4676.67	simiru (?) simita kara zaehatta (ふたから 氷が張った) というところからみて simiru とは <u>寒い</u> と いう意味の様にも思われる	
4678.77	*simiru はじめ ko:ru といった	
4679.65	similru <多用>	
4684.77	simiru (水分の多い雪の固く氷でかたまること simiru という)	
4685.10	simiru <地時から使われ、今最も多く用いる>	ko:ru <若い時から今最も多く用いる> sibareru <雪が sibareru とおぼろ 子供の時に使われ、北海道の果物 で使ったと思う。相当多く用いる>

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記	ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語)	(5)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4686.02	simiru <古>	
4687.01	simiru 雪についてもう	
4694.81	# シミル	コオツ 終止形がえられぬ
4695.21	*simiru (雪・餅・御飯・濡れ手拭などの水分をふくんだものを氷るを simiru)。ほしの ko:ru と答えて後訂正した)	
4696.82	# simiru 「雪が寒さのためにかちかちになることと何と云いますか」の問に対する答。	
4698.15	ko:ru simiru (同じく使う)	
4698.21	ko:ru <これも使う>	simiru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (1)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4703.18	ko:ru simiru 〈已別なし〉	
4706.84	sumiru 〈天気の場合はsibareruと云う〉	
4712.16	ko:lu ([simi:lu]に於て複調査者はふふくせうに肯定)	
4714.68	simiru 〈古〉〈これは水の時にはつかわない〉	
4716.20	simidzūku 〈特にくっついて取れないような場合には多く使う〉	ko:lu
4723.58	sūmi:lu 〈池の水が凍る場合には使わない〉	
4724.28	simi:lu 〈手拭や雑巾にだけ使う〉	ko:ru 〈水手拭はこにも広く使う〉
4742.43	simita 〈現在でも言う〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (7)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4747.61	simiru <この打消はsimirane:である> (ほかの地点では上段的用法E/2.30が普通)	
4746.20	ko:ru <昔人によってはsimiruと言ったものもある>	
4763.45	simiru (しめり気のあるもの凍ることを言う。氷そのもの凍るには使わない)	
4771.58	simiru ko:ru 両方使う	
4773.27	simiru ko:ru <両方全<同様に使う>	
4773.70	simiru <普通使う>	ko:ru <氷も使う>
4773.78	simiru ko:ru <両方おなじ>	
4780.26	simiru ko:ru <同いように使う>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (8)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 共した語形とその注)
4781.86	simiru ko:ru <両方つかう>	
4783.38	simiru ko:ru <両方つかう>	
4784.41	simirü ko:rü <両方同じ emo simide kadakute ku kuwarene: rü と simirü をつかう>	
4791.61	simiru <多>	
4791.65	simiru <使っても少い>	ko:ru
5499.98	イテル(古)。イテルは古語らしく老人の母親がかつて 使ったように気がするとのこと。	コール
5508.43	simiru <イテルとかが来るとき>	ko:ru
5517.90	simiru <希>	ko:ru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(9)
		〔B〕 除いた共通語
		〔C〕 除いた特殊語

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5539.43	シミル シミルは「かちかちになる」までの様子だ、という	コオル
5539.74	ko:ru simiru <どちらでも使う>	
5546.58	simiru <糸>	ko:ru
5548.24	simiru <コオルなどのときはシミルが多い>	
5548.58	ko:ru gambaru	simiru
5549.09	simiru <糸>	ko:ru
5556.35	simiru (こゝも使う)	ko:ru
5557.85	simiru <糸>	ko:ru
5558.09	simiru ko:ru <どちらでも使う>	
5564.76	simiru (ko:ruといわぬ)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	<input checked="" type="checkbox"/> 普通注記 <input type="checkbox"/> (B 除いた共通語) <input type="checkbox"/> (C 除いた特殊語)
項目名 凍る 128		

ページ
(10)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5589.30	シミル <シミルは寒くなるこという>	コイル
5602.99	simiru <古>	
5603.88	ko:ru <雪が固まることでも安けようになる光るを指し simiru といふ>	
5604.28	simiru <餅・飯・その他の食物・糺布巾・手拭などの氷を意>	
5604.52	ko:ru 大根・豆腐・雪の凍るのを simiru といふ	
5604.65	シミル <老母婆が使う>	コイル
5605.70	ko:ru <共> (simiru は洗濯物・餅などいふ例も 他に結果として及ぶ)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		[B 除いた共通語] 〔 〕 [C 除いた特殊語]

地点番号	A 語形とその注記 <B・C 除いた語形とその注>	A 注のない語形 <B・C 残した語形とその注>
5606.83	simiru <多>	
5607.17	ko:ru <これを4使う>	simiru
5609.26	simiru <多>	
5612.98	simiru 雪か固<氷3のは egi ya simiru と言う>	ko:ru
5615.65	simiru <飯か寒さの為氷3場合は simiru と言う>	ko:ru <雪か固<氷3のことも言う には simiru 576 ko:ru の方を 多く用いる>
5620.16	simiru <希>	ko:ru
5622.48	ko:ru (雪か固<氷3とは simiru と言う。濡れた 半紙はとにっして simiru と言うわい61...)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (12)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5625.91	*simiru (雑巾・飯・雪どきについても云う) (ほいぬ ko:ru と答えて後訂正した)	
5628.70	シミル 〈多〉	
5633.81	simiru 〈水以外でのほ simiru とい〉	
5635.65	シミル 〈英〉 〈ユテカシミル〉 (たかこ)	
5641.07	ko:ru simiru 〈両方区別なく使う〉	
5641.99	simiru 〈大根の氷30か〉	
5642.17	simita (終止形はほとんと使われたいなと思われろ) ko:ru	
5642.31	ko:ru simiru 〈区別なく使う〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語 (13)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
5643.33	ko:ru simiru 〈両方便が、シミルはたんたん寒さの度合が強くなっていくことを表す。simite ko:tta〉	
5647.27	コイル 〈多〉	シミル 〈多〉
5648.13	ko:ru 〈大根を simiru〉	
5651.45	ko:ru simiru 〈区別は〈使う〉	
5651.95	ko:ru 〈手拭をき〉	simiru 〈野菜や食へ物のき〉
5652.06	ko:ru simiru 〈同じ意味〉	
5652.22	simita (simiru は寒気が強いこと simita は 2→9 に対応し、同じ simiru は ko:ru に対応 (強い))	ko:ru

A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。

▶ その中での情報は地点番号順に並べる。

▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (14)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5652.37	fimiru < fimiru zo のような言..方はよくする >	ko:ru
5653.60	fimiru < 野菜.豆腐など >	
5661.34	ko:ru fimiru < 区別なく使う >	
5662.78	fimita < 普通には fimita と言.. fimiru とは言わぬ >	ko:ru
5663.66	fimiru < そんなところにおけば fimiru のこと > (野菜・たもの4つの場合によく使われる)	
5670.47	ko:ru fimiru < 区別なし >	
5671.36	ko:ru fimiru < 同じ意味 >	
5672.52	fimiru < 野菜物などとききはこれが多い >	ko:ru
5672.67	ko:ru < 同じくらいないで氷-はかい程度のことでは Simippoi と言う >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記	ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語)	(15)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5673.78	ko:ru < simite コ-ツクと言う。simiruは寒気	
5674.54	のきん <来ること>	
5674.56	ko:ru < 野菜物に限って simiru と言う >	
5676.84	イ子ル < 老人 >	コ子ル
5677.85	コ子ル コ子テシマウカオコサ。	
5679.86	ko:rū (荒)ko:tt(atta (過去))	
5681.41	ko:ru < 野菜物にのみ simira >	
5682.36	simiru < 希 >	ko:ru
5682.37	ko:ru < 本音にカチカチに叩くとおは kanakko:ri ni natta と言う >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (17)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5712.70	simiru [宿の人の言によれば simiru は凍る程度の 低いとき。本音にコチコチにはるのほ ko:ru]	
5712.88	simiru ko:ru < 区別なし >	
5713.65	simiru < 希 >	ko:ru
5723.60	ko:ru < 道・土は ederu >	simiru
5732.17	e:teru < 多 >	ko:ru
5740.43	イテル < 古 >	コイル
5741.25	ko:ru < 大根は e:teru と… >	
5742.32	ko:ru < 凍むの手紙 >	eteru < 野菜の切りにたぶと >
5760.57	ko:ta (過去形)	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記	ページ
項目名 凍る 128		[B 除いた共通語]	(18)
		[C 除いた特殊語]	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5770.11	ko:tta (過去形)	
5771.42	ko:ttfatta (過去形)	
5780.11	ko:tta (過去)	
5790.64	ko:ru <手拭+と> (simogeru <大根+比>)	siganharu <手拭・大根>
5791.07	ko:ru <濡れ手拭>	
5792.18	ko:ru <大根=simogeru>	
5792.62	fakkiribo:pinatta <古> [bo:pi-itapi:natta] 被調査者の妹発言<古>	
5793.20	ko:ru <大根の場合にはko:ru, simogeru 両方便>	
6267.84	ho:p 過去形から推定した語尾中をよし	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る IES		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (19)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6368.60	simiru <多>	
6375.65	シミル<多>	ココル
6383.77	simiru <普通>	
6384.25	simiru <多・右>	kogoru
6386.66	simiru <土地の場合が多>	kogoru
6389.22	シミル (半拭+セ) 布	コイル
6406.77	simiru kogoru <共:言う>	
6413.10	simiru ko:ru (シミルとコイルと同じにセた+セの答 えた。しかしシミルはコイルより程な+軽+シテ)	
6415.23	kogoru <多>	

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (20)

地点番号	A 語形とその注記 (B-C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B-C 残した語形とその注記)
6415.78	kogoru <多>	simiru
6417.72	kogoru (自分ではコガルが多..と被調査者発言が この場合はイテルではないかと思う)	iteru
6418.75	イテル <全> イエル とおいう	コガル
6420.30	シミア (コオニアを訂正)	
6424.92	シミル <普>	
6426.06	simiru <全>	iteru <狭>
6427.30 30.53	シミア (コオニアと答えて後改めた)	
6445.11	コガル シミル <同じ>	
6448.61	コガル <多>	イテル

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
 ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
 ▶ 注記の<>() ()は脱密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (2/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6464.77	サエル <掃>	シミル
6466.36	コオリツク <普>	コオル
6467.73	iteru ko:ritsuku	
6470.11	凍 kaūziru <古>	simiru
6470.59	コゴツク シミルは土地に限る。	
6471.26	コゴツトル 「シミル」とも言う	
6471.59	コゴル 「シミル」は道路、島高などに言う	
6480.29	コゴル シミルは着物、道路などに言う	
6481.15	コゴル <道路がコゴツトルとも言う>	シミル
6481.56	シミル <掃>	コオル

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記	ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語)	(22)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6482.26	カシル シミテからかきになつた状態にカシルという 例は 道路がカシル。カシがる。 但し 霜柱の如くカシギンというはシミル	シミル
6482.52	ko:ru <田畑などは simiru という>	
6491.69	ko:ru (ko:ritsumku のようないい方も有る)	
6504.01	iteru <稀> kato:maru	ko:ru
6507.48	イテル <他希>	シミル
6509.38	シミル <「シミル」は水気のあるもの、外気がこもるは、 りになつたのを言う。「コイル」は水が固体になつて 共通の場合には両者は別れし>	コイル <英>

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (23)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注記)
6570.65	イテル <やや多>	コオル
6571.33	イテル <多>	コオル
6572.67	ko:ru 大根はgibiru	
6578.30	シシル <寒さか加わってコオルとともシシルと言う>	
6578.87	シシル <シシルは水分のあるものが冷めたことコオル ことを言う。> (シミテコオルとはこのことある)	
6520.79	イテル (一般的)	ココル
6524.01	iteru <古>	ko:ru
6525.05	ko:ru <地面や瓦の場合iteruと同じ> (寒気にさらされて濡れた状態はiteru)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (24)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6525.75	ko:ru < iteru はみきり使わはい >	
6525.90	iteru < 苅 >	ko:ru
6526.04	イテル < 水分のあるもの > < コールは氷の場合に使うが 共通の場合は両者同じ >	
6527.44	iteru < 地面とか食物が氷で固くなること >	ko:ru
6534.13	iteru bo:dara ni naru	
6534.37	iteru は < 濡れ: てぬくことの外 地面がイテル のほうに云う方がある >	
6535.90	iteru < 大根などが氷ること >	ko:ru
6536.32	iteru ko:ru < 同様に用いる >	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()[]は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通語 <input checked="" type="checkbox"/> ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語)
		(C 除いた特殊語) (25)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6536.68	ko:ru <年ねくいの例の場合、子供の頃は bari bari ni naru と言った>	
6539.78	ko:ru (ko:tta (過去形)より推定)	
6540.16	kogoru (jumu <読み>はこの意では用いない)	
6542.27	コル <ヤヤ多>	イテル
6542.58	コル 農民がよく用いる	イテル
6547.67	iteru <iteru, ko:ru の両方便に、被調査者は iteru が多いうちに思ふ>	ko:ru
6557.77	iteru <多>	ko:ru <普>
6552.90	ko:ru <「イテル」は土か来るとともに使う>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B) 除いた共通語 (26)
		(C) 除いた特殊語

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6553.52	iteru <多>	kogoru <少>
6553.83	<iteru> <「イテル」は地面・野菜などは氷る場合。 洗面器と板などはくっついた時は「イソク」という>	ko:ru <水が氷るとき>
6554.25	ko:ru iteru <両方同じ>	
6555.65	iteru <外や地面などの場合に使う>	ko:ru
6564.33	iteru (「氷る」とは言わない)	
6565.22	イテル <普通>	イテル
6566.51	ko:ru <iteruとも言う>	
6577.77	ko:ru 大根下と iteru	
6572.04	iteru <多> <「イテル」は氷が氷る場合にも使う>	kogoru <少>

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (27)

地点番号	A 語形とその注記 [B・C 除いた語形とその注]	A 注のない語形 [B・C 残した語形とその注]
6572.55	iteru <豆腐はko:ru, こんにゃくはitafigonnaku>	
6572.97	iteru <水気のあるものが氷る場合は「イテル」。氷が張るより状態を「コ-ル」という>	
6574.06	iteru (「コ-ル」とは言わない) <洗面器と板のひたつ場合「イテツク」という>	
6575.66	iteru <畑に霜柱などはかてきたときはiteruという>	
6577.13	# iteru (畑 katji katji ni naru といたか。同席の人から iteru と言われてそれを肯定)	
6583.41	ko:ru (「イテル」とは言わない。「イテル」は非常に寒いことをいう。凍るの場合「itete ko:ru」という)	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () () は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (28)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6583.45	iteru < [iteru] は甚く寒く、水道や土などの氷るとき、寒気の甚い時。 >	
6587.42	N. R. < 暖かいから冷たいは起るから、道理に「イテル」 「テイル」が「イテル」と云う。冬に壁をぬぐ下時は「イテル」 を使う >	
6592.35	iteru < 多 >	ko:ru
6600.53	simittsuku < simiru 下「イテル」寒い >	ko:ru
6600.97	simiru (白菜や餅は は など言談の問に回答)	ko:ru
6607.03	ko:ru (濡れた手拭) に対して bo:ninaru と答えた から ko:ru を取るべきだと思ふ)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (29)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 共した語形とその注)
6607.84	ko:ru ([ko:tta]を修正)	
66 08.22 ^{25.17}	simiru 野菜の凍ってきることだけに言う	ko:ru
6626.71	ko:ru <手拭いのような物は[bo:nojō:ninazu]とも言う>	
6630.82	simiru 寒気が激しいと	ko:ru
6631.05	ko:tta (過去形)	
6631.53	ko:ru 寒さのあとにこきsimiruという	
6641.43	ko:ru (凍りつてよけぬ肌感にsimiruという)	
6641.97	ko:ru <非常な寒さをsimiruというが、凍ることにはいえない>	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (30)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
6642.85	ko:ru (最初の答 bo:pinaru。『ウルとホーゾク』に 対し ko:ru とホーゾク。自然であった。bo:pinaru が最も自然な対当語)	
6655.97	ko:ru わつたにない	
6665.01	なし (この語は起るにない。おるは水だけ)	
6677.41	NR <この状態になることはない>	
6677.70	ko:tta <この状態はほとんど見ない>	
6697.29	ko:ru <このよう現象はない>	
6698.20	ko:ru <現象なし>	
6710.70	ko:ru <半紙はとまがかりになること>	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (31)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
6711.60	ko:ru <大根などとも同じ>	
7218.26	ない (現象なし)	
7229.50	ku:ru <古>	ko:ru
7237.67	ko:ru <硬直は fatfibarikajaru>	
7239.41	ku:ru <古>	ko:ru
7248.49	kanzitoru <氷がはたきり言わけたら...方>	ko:ru
7248.64	kanzitoru <平持はたきの硬くした場合>	ko:ru
7249.25	フワット (凍っている意)	
7302.71	kanziru (寒い意)	
7302.87	kanziru (寒い意)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記	ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語)	(32)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注記)
7303.29	kanziruu (寒い意)	ko:ru simiruu
7307.16	ko:ru <からがらにわたる場合>	simiruu
7307.48	simiruu <少し乗る味がある>	ko:ru
7311.68	kanziruu (寒い意)	ko:ru
7312.11	kanzitoruu (寒い意)	
7312.69	kandziruu (寒い意) (ko:ru 今若者)	
7312.83	kanziruu (寒い意)	
7313.68	kanziruu (平仮名) (ko:ru 一般的)	
7320.59	ko:ru (kanzito: と南の方言は同じ) (糸島地方で使われている)	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<> () ()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128s		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (33)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7322.81	ko:ru <終止形> <kanziruともある>	
7323.19	ko:ru (寒いー海沿ー云々...)	
7324.96	ko:ru カニール社	
7325.57	simiru (上=段)	
7325.84	simiru <古> (上=段)	ko:ru
7331.27	kanziru (寒い3の意)	
7332.52	kanziru 寒い3の意か 漢字に多い	
7332.97	kanziru (多)	
7333.75	simuru (上=段)	
7335.19	ko:ru 同宿上: 中年男子が simuru とあけたが 被調 査者はそれが未知の由。	

- ▶ A・[B]・[C] ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (24)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
7335.93	simuru <古>	
7344.30	simuru (上=段)	
7345.47	simuru (上=段)	ko:ru
7351.06	kanziru (筑後では稀い)	ko:ru
7351.09	ko:ru <カニシトルなし 冷える(和-ワカニシトルネ-)の 様には言う>	
7353.03	simiru (和<寒<冷。127<冷<の意あり)	ko:ru
7353.19	simiru (シミダ, シミラン, シミロオ)	
7359.78	ko:ru <現象+シ>	
7370.41	クウル テンゲン クウツキヨル (年抵か凍つてゐ) 凍らへう	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通語 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (35)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
7372.03	シャコバル (コオッテ シャコバル)	
7376.62	ko:ru <ko:tforu とこい>	
7382.58	シャシバル <古.ヤヤ希> (<シャコバル 希>>)	コイル
7400.11	simiru (<totsi ga simiru, simi te iken> なとこいゆ)	
7411.61	ko:ru (土地の氷のけ <simiru>といふ)	
7420.18	ko:ru <地面の氷のけ simiruといふ>	
7421.62	simiru 希 <tenugui ga simi ta ぬじに使う>	
7431.08	simiru (<simi totta>といふゆ)	
7450.44	koŕoru 4 [註]	ko:ru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕[]は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	普通注 〔B 除いた共通語〕 〔C 除いた特殊語〕 (36)
項目名 凍る 128		

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7500.66	コイル <道や屋根の瓦などはときはイテルを用う>	
7503.11	ko:ru <「イテル」は寒さで最も強く感じる場合に使う。氷が氷に付く問題では「コニヤ イテルカシテ タイロヒウ。」>	
7521.79	コイル <土地などはイテルを用う>	
7523.30	コイル <イテルは用いない>	
7533.11	コイル <畑などはイテルという人もある>	
7659.40	NR (現象なし)	
8301.19	コイル (シモビルルとは云われない)	コニ
8324.26	kutta 終止形は kuru.	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (37)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注記)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注記)
8325.56	kottotta 〈氷でいる場合。この方が使いこたが多い と思ふ〉	kotta
8341.12	koru (?) (kotta と言う)	
8345.10	kutotta kotta 〈両方便い〉	
8345.18	koru (kotta 過去形)	
8355.23	ko:ru 〈多〉 simoguri naru	
8355.62	kotta 原形は koru であるが、なかなか出にくい過去 形が自然 127と同じ	
8373.43	koru (Ⓚ) 又は kowaru 希にしかた現象)	
8393.69	ko:ru 〈現象のみ〉	

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (38)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 除いた語形とその注)
9303.88	ko:ru <現象トシ>	
9310.27	NR <現象トシ>	
9313.55	ko:ru < " >	
9322.52	koot < " >	
0247.31	NR < " >	
0247.56	ko:rjuri < " >	
0249.17	ko:ri < " >	
0256.08	ko:rjum <強いコトは>	
0256.76	ko:rjum <現象トシ>	
0257.12	ko:jum < " >	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中の情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉() () は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		B 除いた共通語 (/) C 除いた特殊語

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
1763.60	コイル 〈ツ〉	ミバレル 〈多〉
4589.83	ko:ru	simiru 〈古〉
4619.29	ko:ru 〈新上〉	simuru
4648.42	ko:ru 〈共〉	simiru (雪の囲(氷のまわ))
4659.85	ko:ru 〈上新〉	simuru
4663.06	ko:ru	simiru 多く用いる
4666.51	ko:ru 〈新〉	simiru
4672.19	ko:ru 〈共〉	simiru 家の中ではこの水を多く用いる
4675.45	ko:ru 〈新〉	simiru
4679.65	ko:ru	simiru 〈多用〉

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 12		(B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語 (2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
4686.02	ko:ru	simiru <古>
4714.68	ko:lu <新>	simiru <古> <これは水の時 には使わない>
4715.33	ko:lu (共)	simiru
4735.37	ko:lu <上・共>	similu
注記A、 4746.20	ko:lu <昔人においては similu と書いたものがあつた>	
4753.76	ko:lu <新>	similu
4760.64	ko:ru <上>	sümiru
4791.61	ko:ru	simiru <多>
4516.59	ko:ru <新>	simiru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記	ページ
項目名 凍る 128		(B) 除いた共通語	(3)
		(C) 除いた特殊語	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5546.34	ko:ru <新>	simiru
5548.24	ko:ru	simiru <クォールなどのときほシミ が多い>
5579.10	クォール <英>	シミル
5579.79	クォール <英>	シミル
5602.99	ko:ru ko:ritsukku	simiru <古>
5604.28	ko:ru <新> <雑巾などのにも用いる>	simiru <餅・飯などの食物
5606.83	ko:ru	雑巾や拭きなどの氷の意 >
		simiru <多>
5609.26	ko:ru <多>	simiru <多>

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 12s		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (4)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5614.68	ko:ru 〈新希〉	simiru
5620. ^{3.42} 77	g:ko:ru 〈新〉	simiru
5628.70	シミル コオル	シミル
5631.26	ko:ru 〈共〉	simiru
5631.95	ko:ru 〈希〉	simiru
5632.83	ko:ru 〈共〉	simiru
5653.08	ko:ru 〈新〉	simiru
5661.68	ko:ru 〈共〉	simiru
5663.64	ko:ru 〈共〉	simiru 〈そんなところに打付は simiru ヲ" らとと〉

(野菜・たばこの場合には使用)

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記	ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語)	(5)
		(C 除いた特殊語)	

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
5671.00	ko:ru 〈共. 新しい感覚の人はおほほら ko:ru, おろん 自分も使う時おほら〉	fimiru
5671.38	ko:ru 〈希. 新〉	fimiru
5671.94	ko:ru 〈共〉	fimiru
5690.12	ko:ru 〈共〉	fimiru
5701.73	ko:ru	fimiru 〈多〉
5712.17	ko:ru 〈希〉	fimiru
5792.62	ko:ru 〈新〉	fakkiribo:pinatta 〈古〉 [bo:pi-itapi:natta] 被調 査者の妹衆言 〈古〉

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈〉()は敬密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (6)

地・点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注の付いた語形 (B・C 残した語形とその注)
6358.43	コオル〈布〉	シミル
6368.60	ko:ru	simiru 〈多〉
6383.77	ko:ru ^u	simiru 〈普通〉
6415.23	ko:ru 〈上品〉	kogoru 〈多〉
6419.09	コオル〈新〉	イテル
6424.92	コオル	シミル〈普〉
6429.30	コオル〈新布〉	イテル
6509.38	コオル〈共〉	シミル 〈「シミル」は水気のあまのり外数 二あまはかりに下った。「コオル」は水 が固体に下ること。共通の場合には 区別なし〉

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>() ()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B) 除いた共通語 (C) 除いた特殊語 (?)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6576.85	コオル <共>	イテル
6578.30	コオル	シミル <寒さが加わってコオルに モシミルと言う>
6578.87	コオル	シミル <シミルは氷合のあきあきか 冷めた(た)ってコオルとも言う>
6523.88	キ	(シテコオルの語あり)
6523.88	ko:ru	iteru
6542.32	コオル <少>	イテル
6608.22	コオル <あきいわなし>	
73/2.69	ko:ru (今の音-者)	kandziru (寒い音-者)

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中で情報は地点番号順に並ぶ。
- ▶ 注記の<>()は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記
項目名 凍る 128		(B) 除いた共通語
		(C) 除いた特殊語 (8)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7313.68	ko:ru (一般的)	kanziru (手拭 ^り 巾)
7332.97	kaz ko:ru (少)	kanziru (多)
7335.93	ko:ru	simuru <古>
7353.19	ko:ru <新>	simiru (シシ ^ル ・シシ ^ル ・シシ ^ル 才)
7394.60	カ ^ル <新>	
7395.25	ko:ru <新>	kanakuri ga haru

- ▶ A・(B)・(C)ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>()〔 〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		[B 除いた共通語]
		[C 除いた特殊語] (/)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
3725.77	スミダ	スミル
3727.81	スミダ	スミル
3743.49	シミダ (シヒも同下)	スミダ
3744.18	スミダ	スミル
3750.28	oimiru (普通)	ko:ru
3775.11	スミダ	スミル
3776.51	スミテル	スミル
3784.87	スミダ	スミル
4628.28	sümita	sümiru
5791.07	simageru <大根上>	ko:ru <濡上手拭 上>

- ▶ A・[B]・[C]ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の<>〔〕は厳密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		[B 除いた共通語] [C 除いた特殊語] (2)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
6466.01	キツホ ^ホ オン ナル <国<新所>から名付けられた>	コイル
6536.32	kanambo:pinaru	itenu ko:ru
6608.22	コオリ ^ホ ニホ ^ホ ニナル	
6611.61	simiru	ko:ru
6710.70	simoyeru <大根などの凍るに>	ko:ru <手拭などのかきかちにはるに>
A^ 6711.60	ko:ru <大根なども同じ>	
7326.69	simiru 同形に: 船調査者の票	ko:ru
7355.81	simoru <シモルは芋などの凍ってかきかちにはるに>	ko:ru
7360.47	カク ^ル ナル	
7394.60	シモ ^リ スル	

- ▶ A・(B)・(C) ごとに別紙を使用する。
- ▶ その中での情報は地点番号順に並べる。
- ▶ 注記の〈 〉() () は秘密にする。

質問番号 128	地図番号 97	A 普通注記 ページ
項目名 凍る 128		(B 除いた共通語) (C 除いた特殊語) (3)

地点番号	A 語形とその注記 (B・C 除いた語形とその注)	A 注のない語形 (B・C 残した語形とその注)
7451.77	kanako:ri ni naru	
7452.08	simobasita ga tatsu (ko:ru を使わぬ) ^例 辛城に三毛の二三かつ	
8304.66	kanakutta 〈古〉	kotta
8352.92	kazpakazpanaz (か+か+に+か ^意) 大根やイモ では simogoi といふ	
2753.44	kadamaru	
2781.58	kadamaru	
4792.62	sabbiribe:pinatta 〈古〉 [bo:pi-:itapi natta] 根問を名 ^意 妹発言 〈古〉	

